様式２

輸出事業計画
※申請者名：みやざき『食と農』海外輸出促進協議会
品目：きんかん

１．輸出における現状と課題

〈香港・シンガポール向け〉
【現状】本県産きんかんへの期待が高く、都心部の日系の百貨店や量販店を中心に販売実績があるが、更なる認知度向上、販路開拓が必要。
【課題】春節ニーズに対応するための生産出荷体系の構築や適正サイズの出荷量の確保が不十分で、12月～３月までの安定した売り場作りができていない。

〈台湾向け〉
【現状】現地バイヤーから品質について高い評価を得ているため更なる認知度向上と販路開拓が必要である。現地インポーターからは台湾の残留農薬基準に対応した輸出専用産地の構築への期待が高い。
【課題】台湾の残留農薬基準への対応、大ロット輸出を見据えた効率的な流通体制整備やコスト削減が必要である。

〈ＵＡＥ向け〉
【現状】本県産きんかんは甘くそのまま食べられるので評価が高く輸出の可能性がある。
【課題】ニーズ調査の結果おいしさを意識した販売が重要なため完熟きんかんを中心として出荷している産地の選定が必要である。

２．輸出事業計画の取組内容

〈香港・シンガポール向け〉
・春節に対応した新たな作型を体系化するため、12月下旬以降の温室きんかんの作型後期から１月中旬以降の完熟きんかんの作型への出荷リレー体制づくりや収量・品質確保の取組みを進める。

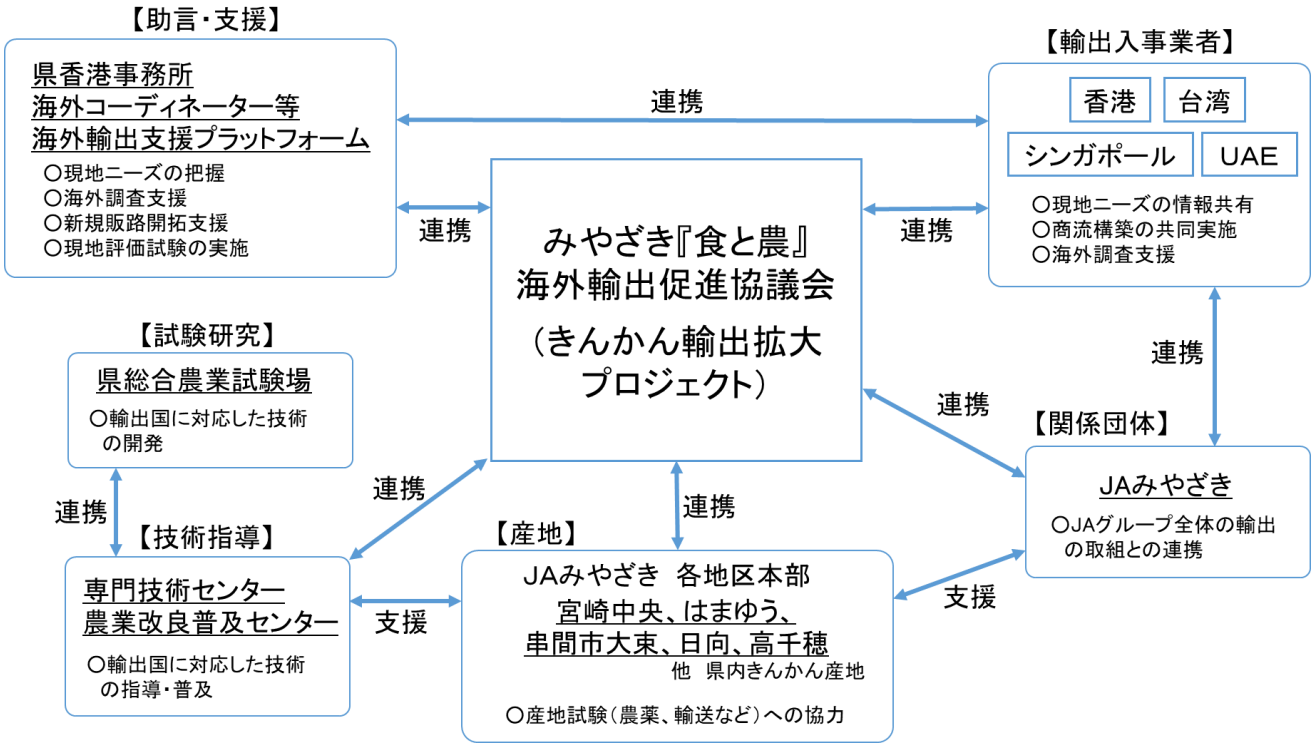
〈台湾向け〉
・台湾の残留農薬基準に対応するため限られた農薬での防除となるため、技術的な検討が必要であり、試験研究部門や技術指導部門との連携、生産者に対しての輸出用きんかんに対する生産・出荷の理解浸透を通し、対応園地の拡大を図る。
・船便輸送試験による適切なルート選定や持続可能な輸出前自主検査流通体制の構築の検討を実施する。

〈ＵＡＥ向け〉
・完熟きんかんの出荷時期は1月中旬からだが産地間で出荷時期にバラツキがあるため出荷開始時期から終盤まで安定供給できるように輸出向けの完熟きんかん産地・生産者数を拡大していく。

様式２

輸出事業計画
※申請者名：みやざき『食と農』海外輸出促進協議会
品目：きんかん

３．輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



４．輸出目標額

きんかん	現状 （令和４年度）	目標年 （令和８年度）
輸出額（千円）	52,043	53,000
輸出量（ｔ）	54.9	49
輸出先国	香港、台湾 シンガポール	香港、台湾 シンガポール ＵＡＥ、湾岸諸国